

## 武田薬品工業新研究所建設についての要望と提案

藤沢市長 海老根靖典様

2008年8月20日

日本共産党藤沢市議会議員団

団長 柳沢 潤次

日々、市民の福祉増進のために努力されていることに敬意を表します。

この間、武田薬品工業新研究所建設について、神奈川県「条例」に基づく「環境影響予測評価書(案)」が市民の閲覧に供され、7月5日に「公聴会」が実施されました。この「公聴会」では21人が公述し、「排気・排水・焼却による排煙からの悪影響」「地震時の倒壊・亀裂による危険」「住宅密集地に研究所を建設することによる周辺環境への悪影響」など、全員が建設に対しての不安感や疑問を訴え、建設に否定的な意見ばかりでした。

日本共産党藤沢市議会議員団は「6月藤沢市議会報告(No166号)」で「武田薬品工業新研究所建設問題」を特集し、この間の経過を踏まえ、武田薬品工業の新研究所建設は「安全性」と「村岡地区のまちづくり」の観点から中止すべきとの考え方を明らかにしました。合わせて「市民アンケートはがき」を配布し、市民の生の声を集約することに今努めているところです。現段階での集約結果は別紙のとおりです。この市民アンケート結果を受け、以下「武田薬品工業新研究所建設について」、日本共産党藤沢市議会議員団として、市長に「要望と提案」を申し入れるものです。

### 記

- 1、武田薬品工業新研究所建設計画を全市民に知らせ、説明することについて
  - 1) 武田の薬品工業新研究所建設の経過・内容・周辺環境への影響など、あまりにも市民に知られていません。市として改めて「広報ふじさわ特集号」や「市のホームページ」などで広く、詳しく知らせるとともに、市として「市民アンケート」を実施すること。
  - 2) 武田薬品工業新研究所建設について、「環境影響予測評価書(案)」で示された3km圏内はもとより、それ以外の希望する町内会・自治会への説明会を開催すること。また、それとは別に、全市民向けの説明会も開催すること。
  - 3) これらの「市民アンケート」や「説明会」での市民の意見集約ができるまでは、武田薬品の「工場の解体」と「新研究所の建設」をしないよう武田薬品工業(株)に強く要請すること。
- 2、大清水下水処理場の建設にあたって当時、市が周辺住民・企業と結んだ協定について
  - 1) 藤沢市は武田薬品工業新研究所の排水を協定の趣旨に反して大清水下水処理場で受け入れることにした経過と理由について関係住民すべてに知らせ、きめ細かく説明会

